

(画像1)

地球温暖化は、私たちにも避けて通れない問題ですね。普段使っているスーパーのレジ袋ですが、

日本全体で消費されている量は年間300億枚。

このため原油を6億リットルも使います。

これが少しでも無くなれば、温暖化防止に役立つはず。

(画像2)

そこでこの横浜市のスーパーマーケットでは神奈川でもいち早く『レジ袋有料化』に踏み込みました。

横浜市のG30エコパートナー協定に基づいて実施されています。
ゴミゼロ

横浜市ではG30のロゴマークを使って、ごみ総量削減に市をあげて取り組んでいます。

(画像3)

利用者は、マイバックを持参し買物します。

この取り組みの前にオリジナルトートバックを配布するなどの運動を行ってきました。レジ袋を使用する場合は、1枚5円。

以前はマイバック持参者は1割程度でしたが、現在は6割を超えるそうです。

(画像4)

しかし県内のコンビニエンスストアでは、マイバックを持ってくる利用者が少なく

簡単に有料化ができないという問題点もあるそうです。

(画像5)

私たちが利用する際にも、普段からポケットにバックを入れて、買い物に行きたいものですね。

選出理由 作者が神奈川県出身で、小説の舞台が横浜のため

高等学校

吉野 万理子 作 秋の大三角（新潮社単行本）

みなとみらい線は、

そのまま東急東横線に乗り入れして、渋谷まで行く。

だからツタの学園でも、

利用者の多くが定期を切り替えた。

それまでは、

東横線の終点・桜木町駅でJR根岸線に乗り換えて

石川町まで来るとというのが通常ルートだった。

横浜でも乗り換えはできるが、

桜木町はホームが隣接していて、

より便利なのだ。

だが、みなとみらい線が開通する前々日に、

横浜桜木町駅間は廃線になり、

電車は海沿いの新しいルートを走るようになったのだった。

里沙はまったく興味なかったが、

クラスの東横線利用者の間では毎日この話題で持ちきりだったので、

一通りの知識は持っていた。

「そうそう、開通した初日は、びっくりしたなあ。」

その日は横浜で降りただけだ。

今までずっと地上だったのに、

二つ手前の東白楽駅を出てから急に地下に入って。

横浜に着いたら、皆呆然と右往左往してたよ。

だって、ここがどこだかわかんないんだもん。

今まで東横線の横浜駅は、地上二階だったから。

いつの間にこんなホームができてたのって感じで「

話しながらも二人はエスカレーターで降下し続け、

ようやく地下四階に降り立った。

AP 部門 高等学校 放送研究部

学校の外

スライド 02

スライド 03

美流香「なーさん。チリトリ持ってきて。」

スライド 04

スライド 05

那菜「へーい、今行くよ」

スライド 06

スライド 07

美「ふーう、やっと終わったね。」

スライド 08

那「お、今気付いたんだけど、この学校の上の道って、まっすぐだね。」

スライド 09

美「そうだね。なんでまっすぐなのかなあ。あっ、ここなんか書いてある！」

スライド 10

スライド 11

那「え？どれどれ？水道用地？」

美「へー、この下水道が通っているのかなあ」

スライド 12

スライド 13

那「あー、この道はずーっと続いているね」

スライド 14

スライド 15

「この道は『ふるさと尾根道緑道』といって、水道用地に整備した遊歩道で、横浜旭陵高校から鶴ヶ峰駅まで続いています」

那「うちの学校のそばに通っているのは、新しくひかれた水道みちで、旧16号線の水道みちは明治にひかれたものなんだって！」

スライド 16

美「ホームページで見ると、こんなプレートがあるらしいよ」

那「よっしゃいってみよう！」

スライド 17

美「私たちは、1番のプレートがある津久井湖に行ってみました」

美「プレートってそんなに大きくないからなかなか見つからないなあ・・・」

那「んーボート乗り場の近くって書いてあるよ。ボート乗り場を探さなきゃ」

スライド 18

美「んーここかなあ。なんか猛犬注意って書いてあるけど・・・」

美「お願いして、取材させてもらいました」

スライド 19

那「これかなあ。あ、そうだそうだ。これだこれだ。」

スライド 20

美「ここは津久井湖の三井って場所。道志川水系から水道水を取水している。道志川は何と山梨県からつながっているんだよ。」

スライド 21

那「学校まで戻ってきました」

美「じゃあこれから、徒歩で探検に行こー！」

スライド 22

那「まずは、都岡町内会館付近だね」

スライド 23

美「でも、この建物の周りには見当たらないなあ」

スライド 24

那「んー、あっ、あれそうじゃない？」

スライド 25

美「あったーあ」

スライド 26

那「以外と学校の近くにあるんだね」

美「うん」

スライド 27

美「この道も、遊歩道として整備されているね」

那「うん、歩いて行ってみようか」

スライド 28

スライド 29

美「16号線に出ました」

スライド 30

スライド 31

美「あっ、あそこに看板があるよ」

スライド 32

那「このプレート、トロッコみちって書いてあるね。水をトロッコで運んだのかなあ」

美「そんなことはないでしょう！水道を作るための資材を運んだみたいだよ」

那「へーすごいね。え？なんでそんなこと知っているの？」

美「実は調べておいたんだ」

スライド 33

那「あっ、ここにトロッコの線路のあとがあるよ。」

美「渡ってみよう！」

スライド 34

スライド 35

スライド 36

美「ここがいまでも当時のレールを残してある場所です」

那「ふう。結構大変だったね」

美「でも、おもしろかったあ。いろいろ新しい発見があったしね」

スライド 37

スライド 38

美「最後に、近代水道の終点、野毛山に行ってみました」

スライド 39

美「あ！ここに古い水道管があるよ！」

スライド 40

那「ヘンリースペンサーパーマーって誰？」

美「何いってんの！？この人こそ、横浜の水道を最初に引いた人だよ」

那「へーそうなんだ」

スライド 41

美「野毛山で最後のプレートを発見しました。」

スライド 42

美「はあ、このプレートで最後だね」

那「横浜はいろいろな初めてがあるけど、水道にも歴史があるんだね」

美「しかも水道は山梨県から引かれているんだ。きれいな水を生んでいる山梨県に感謝だね。」

スライド 43

スライド 44

那「最後に、近代水道の父パーマーさんと記念撮影でもしょうか。」

美「うん、そうだね！」

スライド 45

美「このプレートは全部で50ヶ所近くあります」

那「みなさんも、自分の住んでいる近所にプレートを探してみてもいいかなですか？」

スライド 46

美+那「それでは、さよーなら」

(体育館前で、水を飲むシーン)

ナレーション「何気なく、使用している水道の水。水がもしでなくなったら・・・とても困りますよね。横浜市の水はどこからきているのでしょうか？」

(先生二人、生徒二人程度にインタビュー)

インタビュー「この水はどこからきているか知っていますか」

答え「わかりません」

インタビュー「この水はどこからきているか知っていますか」

答え「山梨県の道志川水系からだと思います」

インタビューした場所でコメント「先生方が言うように、横浜の水は、山梨県からきているのでしょうか。調査してみることにしました。」

ナレーション「私たちは津久井湖にある青山水源事務所を訪ねてみました」

インタビュー「おなまえをおしてください」

田口「横浜市水道局 青山水源事務所の 田口 です。」

インタビュー「本校の近くに『水道用地』とあるのですが」

答え「君たちの学校の近くを通っているのは、相模湖から引かれた水道です。これは昭和になってから引かれた新しい水道です。」

インタビュー「また、少し離れたところに「水道みち」と書かれた看板があるのですが」

答え「それがこの青山水源地から引かれた水が通っている水道みちです。こちらは古く明治20年に完成しました。」

インタビュー「ここではどういうことをしているのでしょうか？」

答え「ここでは山梨県から道志川を経て流れてきた水を取水し、たくさんの沈殿槽を通過させて、ごみや泥をろ過する施設です。この場所は水道の第一段階でまだ直接飲める状態ではありません。」

インタビュー「ありがとうございました」

ナレーション「青山水源地からの水は、城山高校近くのダムを通過しています。この水は相模原市をへて、私たちの横浜市へ向かっています。」

ナレーション「続いて、学校の近くにある水道みちに行ってみましょう。」

コメント「ここが水道みちです。道志川から運ばれた水が相模原市を通过这个横浜の旭区今宿町に来ています。」

道でコメント「水道が通っていることを表す何かを探してみましよう。」

(探す)

道でコメント「ありました！これがトロッコの線路ですね」

ナレーション「水道みちは、現在遊歩道として整備されています。道には「トロッコみち」と書かれたプレートが設置され、水道が引かれた当時の歴史を今に伝えています。」

ナレーション「水道とトロッコの関係ですが、もちろん水をトロッコで運んだわけではなく、水道を引くための資材をトロッコに乗せて運んだということです。」

ナレーション「トロッコの線路は現在ほとんどが失われてしまいましたが、この今宿の地にトロッコ橋として7m幅2mの線路が残されています。」

ナレーション「最後に、野毛山に来てみました。」

ナレーション「山梨県から来た水は道志川で取水され、相模市、横浜市北部を通り、この野毛山に到達しました。」

野毛山でコメント「ここが、近代水道の終点野毛山です。道志川から運ばれた水道はここにいったん集められ、桜木町の住宅に運ばれたそうです。」

野毛山でコメント「この銅像がHSパーマーです。彼はイギリスの設計技師として日本をたずね、工事を指揮し、彼の力によって水道をここまでひくことができました」

コメント「最後にパーマーさんと記念撮影をしました。」

(パチリ！)

ナレーション「制作は神奈川県立 高校放送研究部でした」